

印旛高校、進学重視の 単位制高校へ

印西市特集 6月県議会一般質問

瀧田県議 県立印旛高校の移転に関連し、平成二十二年度開校へ向けた施設整備の進捗状況はどうか。

教育長 印旛高校の千葉ニュータウン地区移転については、校舎と屋内運動場の建築工事及びグラウンド整備工事等を本年度から二十一年度にかけて実施する計画になっており、現在、発注に向けた準備を行っているところです。

瀧田県議 生徒募集について、県教委は具体的にどう取り組んでいくのか。

教育長 印旛高校は移転を契機に、進学を重視した普通科の単位制高校として、平成二十二年入学生から、進路希望に応じた科目選択を可能とするなど、特色ある教育課程を編成することとしています。

まず、生徒募集に当っては、パイロットスクールとしての教育理念や教育施設など、新しい学校の姿を理解していただくことが重要です。県教

委と学校が一体となって、中学校職員や保護者の集まりに積極的に参加し、その魅力を伝えてまいります。



要望 印旛高校の跡地の取り扱いについて、土地譲渡手続きを地元印西市と十分協議を重ねて進める

よう要望する。

6月定例県議会・本会議場 三度目の一般質問を行う瀧田敏幸県議

手賀沼の不法投棄対策 点検パトロールを強化

点検パトロールを強化

瀧田県議 下手賀沼の不法投棄防止のため、パトロールと定期的な土手法面（のりめん）の除草作業を実施すべきと思うがどうか。

県土整備部長 河川パトロールについては、河川維持管理指針等に基づいて、点

検パトロールを実施しているところとあります。今後、パトロールの強化については、県環境部門、地元の市及び手賀沼水環境保全協議会、NPO等と連携を図りながら実施してまいります。

定期的な除草については、河川管理上、必要な区間を実施していきたいと思えます。

清掃や美化活動を行う地域住民の方々やNPOの皆様に対しても、草刈機の貸し出しやボランティア保険の加入などの支援をする「アダプト制度」も有効に活用していきたいと考えています。

瀧田県議の3大政策

1. 成田新高速鉄道開業に伴う北総鉄道の高運賃是正
2. 印西市の総合病院誘致。千葉県への病床数配分の確保
3. JR木下・小林駅橋上化と成田線の利便性向上

中心市街地活性化問題

地域主体の活動へ支援

瀧田県議 中心市街地活性化問題について、「街場」の再生、サステイナブルなまちづくりを支援するため、今後、千葉県として独自の取り組みを行うべきと思うがどうか。

堂本知事 持続可能なまちづくりや中心市街地の活性化については、まちづくりの主体である市町村や、地域住民、事業者など多様な主体が協働して取り組むべき課題だと認識しています。

中心市街地の賑わいを創出するため、商店街の振興については、まちづくりのための組織づくりへの支援や、事業者の地域貢献を促すガイドラインの運用などを通じて、地域の活性化と地域商業の活性化の好循環を実現したいと考えているところです。

また、地域づくりには、単に商業振興だけでなく、総合的に取り組んでいくことが重要です。地域資源を活用した魅力ある地域づくりやコンパクトなまちづくりなど、地域が主体となった取り組みへの支援を行い、活性化を図ることとしています。

財源不足への懸念を表明

6月定例県議会最大会派の自民党からは皆川輝夫議員（鎌ヶ谷市選出、四期目）が代表質問に登壇しました。

皆川議員は、財政問題を第一に取り上げ、本年度は当初予算段階でも百四十五億円もの財源不足のうえ、原油価格の高騰や幅広い物価の値上がりで日本経済に暗い影を落としているなかで、今後予定した税収さえ確保できないのではないかと懸念から厳しい財政運営を質しました。

また、羽田空港の国際化問題での知事の姿勢を厳しく質すとともに、成田新高速鉄道の開通に伴う北総鉄道との運賃格差問題や特急待ちによる利便性の低下などを指摘し、県当局の取り組みの是正を求めました。

県政から築く

印西市の元気な明日

たきた敏幸県議